

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
江戸	元禄文化	1644	みん明	<p><b>【鎖国の完成】</b> <b>1639</b> <b>16</b>いろ<b>39</b>ポルトガル 家光が、ポルトガル船の来航禁止のお触れを出し、約200年間も続く鎖国が始まる。このことで幕府の支配が固められ、日本独自の文化も生まれる。</p> <p><b>1641</b> <b>16</b>くて住み<b>41</b>オランダ出島 オランダが商館を出島(長崎県)に移す。</p> <p>この時代に日本と取引のあった外国はオランダと正式な国交はなかった中国の清王朝と、正式に国交を結んだ李氏朝鮮の3つです。</p> <p><b>1643</b> 家光が、本百姓が土地を手放すことを禁止する田畑永代売買禁止令を出す。幕府が年貢米を確実に取り立てるためと、苦しい生活から逃げて農民よりも税の負担が軽い町民になる農民たちが増えて、米の収穫が減ったためと思われる。</p> <p><b>1649</b> お触書、1つ、649で働くことよ 麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べない ようにさせるきまりの慶安のお触書を農民たちに出す。</p>
			リ李	<p><b>1669</b> アイヌの酋長(シャクシャイン)が、蝦夷地(北海道)を支配しようとする松前藩と戦い破れたシャクシャインの戦い。</p> <p><b>1670</b> 新田開発のためにトンネルを掘って、芦ノ湖から駿河国(静岡県)まで水を引いた箱根用水が完成。</p> <p><b>1680</b> 徳川綱吉が5代将軍になる。</p> <p><b>1687</b> 綱吉が、動物を極端に保護した生類憐みの令という悪法を出す。綱吉は湯島(東京都)に孔子(儒学)をまつた聖堂も建てている。</p> <p><b>【幕府の政治改革…正享田寛天の改革と覚える】</b></p> <p><b>1709</b> 白石じゃ、1709で失敗じゃ 6代家宣と7代家継に仕えた儒学者の新井白石が幕府の財政を立て直すために正徳の治という儒学を重んじた政治改革(文治政治)を行う。</p> <p><b>1715</b> 新井白石が金銀の海外流出を防ぐために長崎貿易を制限するが効果はなかった。</p> <p><b>1716</b> 享保も1716いろ、でも吉(吉宗)とする 徳川吉宗が8代将軍になり、年貢を四公六民から五公五民にするなどの享保の改革を行う。</p> <p><b>1721</b> 吉宗が庶民の意見を聞くための目安箱を設置する。</p>
江戸	元禄文化	1644	しん清	<p><b>1649</b> イギリスで清教徒革命がおこる</p> <p><b>1661</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1699</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1700</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1715</b> フランスのペルサイユ宮殿が完成</p>
			ちよう朝	<p><b>1649</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1661</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1699</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1700</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1715</b> フランスのペルサイユ宮殿が完成</p>
江戸	元禄文化	1644	せん鮮	<p><b>1649</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1661</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1699</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1700</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1715</b> フランスのペルサイユ宮殿が完成</p>
			せん鮮	<p><b>1649</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1661</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1699</b> イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる</p> <p><b>1700</b> フランスでルイ14世の絶対王政が始まる</p> <p><b>1715</b> フランスのペルサイユ宮殿が完成</p>

## 関連することがら・文化・覚え方

## 【鎖国の完成】

**1639** **16**いろ**39**ポルトガル 家光が、ポルトガル船の来航禁止のお触れを出し、約200年間も続く鎖国が始まる。このことで幕府の支配が固められ、日本独自の文化も生まれる。

**1641** **16**くて住み**41**オランダ出島 オランダが商館を出島(長崎県)に移す。

この時代に日本と取引のあった外国はオランダと正式な国交はなかった中国の清王朝と、正式に国交を結んだ李氏朝鮮の3つです。

**1643** 家光が、本百姓が土地を手放すことを禁止する田畑永代売買禁止令を出す。幕府が年貢米を確実に取り立てるためと、苦しい生活から逃げて農民よりも税の負担が軽い町民になる農民たちが増えて、米の収穫が減ったためと思われる。

**1649** お触書、1つ、649で働くことよ 麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べない ようにさせるきまりの慶安のお触書を農民たちに出す。

**1669** アイヌの酋長(シャクシャイン)が、蝦夷地(北海道)を支配しようとする松前藩と戦い破れたシャクシャインの戦い。

**1670** 新田開発のためにトンネルを掘って、芦ノ湖から駿河国(静岡県)まで水を引いた箱根用水が完成。

**1680** 徳川綱吉が5代将軍になる。

**1687** 綱吉が、動物を極端に保護した生類憐みの令という悪法を出す。綱吉は湯島(東京都)に孔子(儒学)をまつた聖堂も建てている。

**【幕府の政治改革…正享田寛天の改革と覚える】**

**1709** 白石じゃ、1709で失敗じゃ 6代家宣と7代家継に仕えた儒学者の新井白石が幕府の財政を立て直すために正徳の治という儒学を重んじた政治改革(文治政治)を行う。

**1715** 新井白石が金銀の海外流出を防ぐために長崎貿易を制限するが効果はなかった。

**1716** 享保も1716いろ、でも吉(吉宗)とする 徳川吉宗が8代将軍になり、年貢を四公六民から五公五民にするなどの享保の改革を行う。

**1721** 吉宗が庶民の意見を聞くための目安箱を設置する。

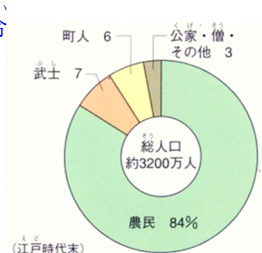
## 建築

数寄屋造りの桂離宮(京都)



家光が、家康を祀る日光東照宮を完成させる

**1642** イギリスで清教徒革命がおこる



**1649** イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる

**1661** フランスでルイ14世の絶対王政が始まる



農業…備中ぐわ・千歯こき・千石どおし

などの農具の発達により、耕地面積が飛躍的に増加。

金肥(金銭で手に入れる油かすやほしかなど)

商品作物(売ることを目的にした綿・麻・菜種・茶・たばこ・あいなど) 養蚕の奨励

木綿の広まりにより寿命がのびる 茶が庶民にも普及。農業全書(宮崎安貞)による農業技術の発達。

元禄文化…1700年前後の大阪や京都の上方を

中心に栄えた文化

風神雷神図屏風(俵屋宗達)

紅白図屏風・燕子花図屏風(尾形光琳)

見返り美人図(浮世絵・菱川師宣)

日本永代蔵(井原西鶴)

歌舞伎や人形浄瑠璃

奥の細道(松尾芭蕉)

曾根崎心中(近松門左衛門)

徳川光圀の命で大日本史を編さん

西洋紀聞・読史余論(新井白石)

**1715** フランスのペルサイユ宮殿が完成

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方	
江戸時代	文化	清	李	<p>1722 夕飯が17(稲)2ぶ2つは上米のせい 吉宗が、目安箱の意見で作られた貧困者のための小石川養生所や、町方の消防組織の町火消しを設置する。 新田開発を奨励。上米を納める代わりに、参勤交代の江戸での滞在期間を1年から半年にするという上米の制(令)を出す。</p>	<p>陸上交通</p> 
				<p>1723 吉宗さん、足高は1723台? わしにも足して 吉宗が、身分の低いものでも高い役職につくことができる足高の制を出す。</p>	<p>日本橋を起点として五街道が整備され、各地に城下町・門前町・宿場町などが発達し、飛脚が活躍する</p>
				<p>1732 享保の大ききんがおこり、幕府の財政がふたたび悪化し、農民による百姓一揆と町民による打ちこわしが多発する。</p>	<p>1732 北アメリカのイギリス植民地が13州になる</p>
				<p>1742 公事方は1で742は厳しい掟 吉宗が裁判の基準となる公事方御定書を出す。</p>	<p>農業…吉宗に命じられオランダ語の習得に努めた青木昆陽が、蘭学の基礎をきずき、ききんに備える作物としてサツマイモの栽培を広める。</p>
				<p>1745 徳川家重が9代将軍になる。</p>	<p>工業…平賀源内が摩擦起電機(エレキテル)を発明</p>
				<p>1760 徳川家治が10代将軍になる。</p>	<p>問屋制家内工業が始まり、工場制手工業(マニファクチュア)へと発展</p>
				<p>1772 田沼意次が老中になり、商人の力を利用して財政の立て直しをはかる。しかし、株仲間による利益の独占が批判される。</p>	<p>1776 アメリカが独立を宣言する</p>
				<p>1782 天明の大ききんによって、百姓一揆と打ちこわしが多発したことが原因で、田沼意次が失脚する。</p>	<p>海上交通 西回り航路と東回り航路が河村瑞賢によって開かれ、菱垣廻船や樽廻船を使って、大阪～江戸を中心に大量輸送が行われた。</p>
				<p>1783 浅間山、天明1(人)の783なり 浅間山(長野県と群馬県の県境)の噴火により百姓一揆と打ちこわしが多発する。</p>	<p>医学・文化 青木昆陽の弟子の前野良沢(中津藩大分県)と杉田玄白(小浜藩・福井県)がターヘル・アナトミアを翻訳して、日本で初めての医学書の解体新書をつくる。 雨月物語(上田秋成) 開国兵談(林子平)</p>
				<p>1787 定信は、改革やりすぎ1787 徳川家斉が11代将軍になり、もと白河藩主の松平定信が老中となって、享保の改革を手本にした寛政の改革にとりかかり、幕府財政の立て直しをはかる。倹約令や出稼ぎの禁止、ききんに備えて米をたくわえよとする囲米の制などを出す。</p>	<p>生活 庶民の教育機関である寺子屋が普及する 庶民の間に落語や相撲</p>
				<p>1789 定信の借金消えんれ、1789 旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令が出される。しかし、町人が武士へお金を貸さなくなり、かえって武士の生活は苦しくなった。</p>	<p>1789 フランス革命がおこる</p>



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
江戸	元禄文化 政治文化	清	李氏朝鮮	1790 学問が朱子学だけとは、 <b>1790</b> 。なあ、定信はん 松平定信が朱子学以外は認めないとした <b>寛政異学の禁</b> を出す。
				1792 ロシアの <b>ラクスマン</b> が日本との通商求めて根室(北海道)に来航するが、幕府は通商を望むなら長崎にくるようにと返事をする。
				1804 <b>1804</b> ナポレオンがフランス皇帝になる ロシアのレザノフが長崎に来航する。
				1808 イギリス軍艦のフェートン号が、オランダ船を追って長崎港に侵入して乱暴をはたらく <b>フェートン号事件</b> がおこる。 間宮林蔵が樺太を探検して、樺太が島であることや <b>間宮海峡</b> を発見する。
				1825 江戸幕府が鎖国体制を守るために <b>外国船(異国船)打払令</b> を出す。
				1833 天保の <b>大ききん</b> にみまわれ、一揆・打ちこわしが多発する。 <b>化政文化</b>
				1837 幕府には、 <b>1837</b> 大塩平八郎 徳川家慶が12代将軍になる。 もと大阪町奉行所の与力(役人)の大塩平八郎が幕府の直轄する大阪で、ききんで苦しむ人々を救おうと、 <b>大塩平八郎の乱</b> をおこす。 <b>モリソン号</b> 、鎖国 <b>18</b> と <b>37</b> された通商を求めて、神奈川県浦賀に来航したアメリカの商船モリソン号を砲撃する <b>モリソン号事件</b> がおこる。
				1839 蘭学の研究が進み、世界情勢に目をむけた高野長英と渡辺華山が鎖国政策を批判したため処罰されたできごとを <b>蛮社の獄</b> という。 <b>1841</b> 忠邦は、天保の仲間と酒飲み <b>1841</b> 老中 <b>水野忠邦</b> が、株仲間の独占が物価を上げている原因として、株仲間の解散を命じるなどの <b>天保の改革</b> にとりかかるが、混乱をまねいただけで失敗した。
				1842 <b>新</b> と水、しかたがないからいや <b>1842</b> 清がイギリスに負けたことを知った老中 <b>水野忠邦</b> が <b>外国船打払令</b> を廃止して、外国船に燃料と食料を与えよとする <b>薪水給与令</b> を出す。
				1843 老中 <b>水野忠邦</b> が、出かせぎの農民たちを強制的に国に帰して、農村の復興を図った <b>人返し令</b> や江戸・大阪の周辺を幕府領とし、その地域の大名や旗本に替地を命じる <b>上地令</b> を出すが、大名や旗本の反発が強くてすぐに撤回し、このことで水野忠邦は失脚した。
1844 オランダ国王が幕府に外国との貿易のやり方を教えるからと開国をすすめたが、幕府はこれを拒否し、後にアメリカとの間で不平等条約を結ばされることになる。				

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
文化 政治 文化	え 江 戸	し ん 清	リ 李  氏  ちょう 朝  せん 鮮	<p><b>【開国と幕府の滅亡】</b></p> <p><b>1853</b> <b>黒船に大砲撃たれて1853</b>  <small>めつぱう くろふね たいほうう いや 誰 参</small>          徳川家定が13代将軍になる。アメリカのペリーが、開国と通商を要求する大統領の手紙を持って浦賀(横須賀市)に来航。目的は捕鯨や中国との貿易を行なうアメリカ船の食料や水・石炭などの補給を日本でする必要があったことなど。</p> <p><b>1854</b> <b>開国し、これから困難1854</b>  <small>せき ぐんかん かながわ おき</small>          7隻の軍艦をひきいたペリーが、神奈川(横浜市)の沖にふたたび現れる。黒船(蒸気船)の姿におそれた幕府は日米和親条約を結び、この条約によって下田(静岡県)と函館(北海道)の港を開き、アメリカ船の燃料と食料の補給やアメリカ領事の下田駐在を認める。その後、イギリス・ロシア・オランダ・フランスとも同じ内容の条約を結び、200年続いた鎖国が終わる。</p> <p><b>1855</b> 榎本武揚がロシアのプチャーチンと日露和親条約を結び、択捉島より南を日本領に、樺太は日本とロシアの雑居地にすることをとり決めた。後の太平洋戦争で四島をふくむ領土を奪われたため、これらの返還を要求する北方領土問題が今日につながっている。</p> <p><b>1858</b> <b>1858だ、不平等条約</b>  <small>い いは 連 反 らびようどう</small>          徳川家茂が14代将軍になる。大老の井伊直弼が、初代アメリカ領事のハリスと日米修好通商条約を結んで貿易が始まり、下田を閉じて神奈川(横浜)・長崎・新潟・兵庫(神戸)も開港(合計5港)する。しかし、治外法権を承認し、関税自主権が無いなどの日本に不利な条約であった。また、生糸や茶をさかんに輸出したため国内は品不足による物価高におちいり、生活が苦しくなったのは幕府や外国のせいだと非難した吉田松陰(松下村塾)や橋本左内らを死刑にする安政の大獄がおきた。やがて、人々の間に外国人を打ち払い、天皇を中心にすえた政治に改革しようとする尊皇攘夷運動が広まる。</p> <p><b>1860</b> <b>1860暗殺された</b>  <small>い いは 老 心</small>          安政の大獄で、藩主徳川斉昭(15代慶喜の父)が処罰されたことに不満を強めた水戸藩の尊王攘夷派の志士たちが、命令を出した井伊直弼を暗殺する桜田門外の変がおこる。</p> <p><b>1862</b> <b>横浜の生麦18よ、62炊けない</b>  <small>なまむぎ いや るくに た</small>          横浜の生麦で、薩摩藩の行列をさえぎったイギリス人を切り殺す生麦事件がおこる。</p> <p><b>1863</b> <b>1863 アメリカで、リンカーンが奴隷解放政策を行う</b>          イギリスが、幕府や薩摩藩に対して生麦事件での賠償金を要求するが、藩はこれに応じなかったため、薩英戦争に発展し、敗北した薩摩藩は近代兵器の恐ろしさを痛感する。以後、和議が成立し、イギリスが薩摩藩に対して幕府を倒すための援助をするようになる。さらに同年、幕府に命じられた長州藩(山口県)が、下関海峡を通過するアメリカ・フランス・オランダの外国船を砲撃する下関事件がおこった。</p> <p><b>1864</b> <b>長州が降伏するも1国864した</b>  <small>ちようしゅう ちようふく しこく 864</small>          下関事件の報復でイギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国が下関砲台を攻撃する四国艦隊下関砲撃事件がおこる。わずか3日間で長州藩は降伏。この事件で攘夷(外国人を討ち果たすこと)の不可能をさとった長州藩の高杉晋作らが倒幕運動に傾いていく。</p> <p><b>1866</b>          徳川慶喜が江戸幕府最後の第15代将軍になる。          薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の木戸孝允が、坂本竜馬(土佐藩)の郷土で、軍艦奉行の勝海舟に航海術を学び海援隊を結成した人物。大政奉還の実現に力をつくすが、京都で幕府に暗殺された)のなかだちで、幕府を倒すための薩長同盟を結ぶ。</p>
				        



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
江戸				<p>「明治維新」</p> <p>1867 徳川慶喜は政治の実権を天皇に返す<b>大政奉還</b>を行い、およそ 260 年続いた江戸幕府と約 700 年間の武士の世が終わった。これを受け、明治天皇が<b>王政復古の大号令</b>を出す。</p> <p>1868 明治新政府と旧幕府軍の戦いである<b>戊辰戦争</b>がおこり、京都の鳥羽・伏見の戦いから、北海道函館での<b>五稜郭の戦い</b>まで続いた。この後、明治天皇は新政府の方針を全国の大名家たちに示す<b>五か条の御誓文</b>を出し、民衆に対しては、各地に<b>五榜の掲示</b>といわれる 5 枚の立て札を立てて、政府の方針を示した。</p> <p>しかし、その内容は江戸幕府とあまり変わらないものだったため、民衆は失望した。同時に、神と仏は別なものであるとする<b>神仏分離令</b>が出ている。それまでは神も仏も同じであるとされていた。</p> <p>1869 江戸を<b>東京</b>とし、元号も慶応から明治に変え、東京を日本の首都とし、江戸幕府の藩主が領有していた土地と人民の支配権は天皇に返す<b>版籍奉還</b>が行われ、士農工商の身分制度は<b>四民平等</b>であるとし、大名や公家は華族に、武士の<b>苗字帯刀</b>などの特権はなくして<b>士族</b>とし、農工商・えた・ひにんは<b>平民</b>であるとされた。また、蝦夷地のよび名を北海道と改め、開拓のために<b>開拓使</b>(官庁)が置かれた。</p> <p>東京～横浜を結ぶ<b>電信</b>(電報)が開通した。</p> <p>1870 東京で<b>人力車</b>が営業を始める。日刊新聞が発刊される。</p> <p>1871 <b>使節団</b>、藩を県とは<b>1871</b> 藩を廃止して府県を置く<b>廃藩置県</b>が行われ、新しく府知事や県令(県知事)が任命された。このとき、北海道(1886 から)と沖縄(1879 年)は新政府の統治下に置かれていない。</p> <p>中国の清と対等の立場での<b>日清修好条規</b>(条約)を結ぶ。</p> <p><b>前島密</b>の努力によって、東京～京都～大阪を結ぶ<b>郵便制度</b>ができる。貨幣の単位を円・銭・厘に変える<b>貨幣制度</b>ができる。</p> <p>江戸幕府が結んだ<b>不平等条約</b>を改めるための<b>使節団</b>を欧米に派遣するが、欧米諸国は日本を近代国家として認めず、要求に応じてくれなかった。</p> <p>1872 <b>新橋～横浜</b>の間をイギリスから技術を導入した<b>鉄道</b>(<b>陸蒸気</b>)が走る。銀行制度ができる。小中大学区に分ける<b>学制</b>が発布される。群馬県で、フランスから技術導入した官営の<b>富岡製糸場</b>が操業を始める。</p> <p><b>生活・文化</b></p> <p><b>学問のすすめ</b>(福沢諭吉)・<b>慶応義塾大</b>(福沢諭吉)・<b>東京専門学校</b>(早稲田大・大隈重信) 横浜でガス灯がとる((1872) 銀座にレンガ造りの洋館が建つ(1873)</p>
1868				<p>●五榜の掲示(一部)●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大ぜいで願いごとをしたり、村からにげだしたり、一揆をおこしてはいけない。</li> <li>キリスト教はかたく禁止する。</li> </ul> <p>●五か条の御誓文●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政治のことは、会議を開き、みんなの意見で決めよう。</li> <li>みんなの心を一つにして、新しい政策を行おう。</li> <li>役人も民衆もすべての人々の願いがかなえられるようにしよう。</li> <li>むかしからの悪い習慣をやめよう。</li> <li>新しい知識を世界から求め、天皇中心の国を発展させよう。</li> </ul>
明治	明治文化	清	朝鮮	<p>1869 スエズ運河が開通</p> <p>都道府県名と県庁所在地名がちがうところ (■)</p> <p>1871 ドイツ帝国が成立</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
明治文化	清	朝鮮		<p><b>1873</b> 農民は、徴兵に地租まで取られ、<b>1873</b>だ</p> <p>今までの陰暦(月の動き)を太陽暦に変えたため、1872年12月3日が1873年1月1日になる。  米の価格によって年貢は増減するため、土地の所有者に地価の<b>3%</b>を現金で納めさせる<b>地租改正</b>を行い、国の財政の土台を固めようとした。  <b>山県有朋</b>が、<b>20歳以上の男子</b>に兵役の義務をおわせる<b>徴兵令</b>をつくる。  このとき、農民たちが働き手とられることや、税の負担が江戸時代と変わらなかったため、これらへの反対一揆をおこしている。</p> <p><b>[自由民権運動]</b></p> <p><b>1874</b> 建白書、反対唱える<b>1874</b></p> <p>高知に自由党の母体となる<b>立志社</b>をつくった<b>板垣退助</b>が、藩閥政治をやめるように要求した<b>民選議院設立建白書</b>(国会を開いて国民が選んだ議員によって政治を行うべきである)を政府に提出する。</p> <p><b>1875</b></p> <p>日本が、鎖国政策をとっていた朝鮮に開国をせまる<b>江華島事件</b>がおき、翌年に日本有利の<b>日朝修好条規</b>を朝鮮に結ばせる。また、この年に元幕臣の榎本武揚が、ロシアと<b>樺太・千島交換条約</b>を結び千島から南が日本領になっている。さらに、北海道に<b>屯田兵</b>(土族の失業対策)を送り、北の警備と開拓にあたっている。</p> <p><b>1876</b></p> <p>李 <b>地租改正反対一揆</b>により、地租が3%から<b>2.5%</b>になる。</p> <p>氏 日本が<b>小笠原諸島の領有権</b>を宣言したため、イギリス・アメリカと対立する。琉球帰属問題では清と対立した。</p> <p><b>1877</b> <b>郷どん、1877</b>残りかわいそう</p> <p>士族たちの不満が爆発して、鹿児島県で<b>西南戦争</b>がおこる。このとき先頭に立った<b>西郷隆盛</b>は<b>征韓論</b>が政府に反対されたことで政府を辞めており、この戦いで敗死する。<b>東京大学</b>が設立される。</p> <p>朝鮮 <b>モース</b>が大森貝塚を発見する</p> <p><b>1879</b> <b>1877</b> イギリス領インド帝国が成立  沖縄県を設置する。 <b>1879</b> アメリカでエジソンが電球を発明</p> <p><b>1880</b></p> <p>藩閥政治の政府が、国会の開設などを要求する<b>自由民権運動</b>の広まりをおさえるため、各地の演説会や出版物をきびしく取りしめる<b>集会条例</b>を定める。それでも、国民の要求は高まる一方であった。</p> <p><b>1881</b></p> <p>国民の要求におされた政府が、1890年に国会を開くという約束の<b>国会開設の勅諭</b>が出され、その開設に向け、<b>板垣退助</b>が<b>自由党</b>を結成する。</p> <p><b>1882</b></p> <p>国会開設に向けて<b>大隈重信</b>が<b>立憲改進黨</b>を結成する。</p> <p>日本銀行が設立される。</p> <p><b>1883</b> <b>1882</b> ドイツ・オーストリア・イタリアが<b>三国同盟</b>をむすぶ</p> <p>日本の近代化を示し、不平等条約を撤回 <b>1882</b> コッホが結核菌を発見する</p> <p>するために井上馨外相が<b>鹿鳴館</b>を建設する。しかし、欧米人たちは中身がともなっていないと冷ややかな目で見ていた。</p> <p><b>1884</b></p> <p>不景気や生糸の値下がりに苦しんだ秩父(埼玉県)の農民たちが、自由民権の政府をつくることや減税を求め、これに加わった自由党員や農民が処罰される<b>秩父事件</b>がおこる。</p>
				        



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
明治文化	明治文化	清	朝鮮	<p>1885 内閣制度ができ、伊藤博文が初代総理大臣になる。</p> <p>1886 沈没したイギリスの貨物船ノルマントン号のイギリス人の船長と乗組員は全員ボートで脱出し、残された日本人の乗客が全員おぼれて死んでしまったノルマントン号事件がおこる。しかし、治外法権によって、日本の裁判で裁くことができずに船長は軽い罪になったため、国民の間に治外法権撤廃の機運が高まる。</p> <p>義務教育4ヵ年とする学校令が出される。</p> <p>1889 明治憲法1889 立憲君主制の強いドイツの憲法を手本に天皇主権で、国民は天皇の臣民(けらい)であるとする大日本帝国憲法が、天皇が国民に与える形の欽定憲法として2月11日に発布された。…黒田清隆内閣 東海道本線が全通する</p> <p>1890 議会の開くも1890 第1回衆議院選挙が行われ、第1回帝国議会が開かれる。この衆議院選挙は、15円以上の国税を納める25歳以上の男子のみで、全人口の1%だけが参加できた制限選挙であった。被選挙権は30歳以上。帝国議会は、国民が選挙で選ぶ衆議院と、天皇が任命する貴族院の2院制でなっている。小学校の道德の授業では、天皇を神として崇め、天皇のために身命を捨てて国を守ることなどの忠君愛国の精神を、こどもたちに教えこむための教育勅語が使われている。</p> <p>1891 足尾銅山鉱毒事件(栃木県)がおきるが、政府は外貨獲得のためとして、鉱毒をたれ流しにした。これに対して衆議院議員の田中正造が反対運動を展開した。これが日本の公害反対運動の原点である。</p> <p>【大陸進出と日本の第1次産業革命】</p> <p>1894 宗光は1894で法権撤廃・清に勝つため1894 外務大臣陸奥宗光がイギリスとの間で治外法権の撤廃をはたす。日清戦争の直前だったことから、ロシアの勢力が中国や朝鮮におよぶことを防ぐねらいがイギリスにあったと考えられている。同じ年、治外法権の撤廃をもちこんだ日英通商航海条約をイギリスと結んでいる。…伊藤博文内閣 また、朝鮮を開国させた日本は、朝鮮に勢力をのびし、朝鮮を自国の領土の一部と考えていた清と対立する。このとき、朝鮮で外国の勢力の追い出しと朝鮮政府の悪政反対を叫んだ東学党の農民たちの反乱の東学党の乱(甲午農民戦争)がおき、日本が清の軍艦を攻撃したことをきっかけにして日清戦争が始まる。</p> <p>1895 あの1895たよ、三国干渉 日清戦争で日本が勝利し、講和の下関条約(山口県)で①朝鮮が独立国であることを清に認めさせ、②遼東半島と、台湾・澎湖島などの島々を日本の領土にし、③賠償金3億円(日本円で)を清から手に入れる。しかし、中国への進出をねらうロシア・フランス・ドイツが、日本に遼東半島の返還を要求し、清に返還することになったできごとの三国干渉がおき、この後の日本は、ロシアと対立することになる。</p> <p>1897 かん 韓 国 大隈重信と板垣退助による日本初の政党内閣である隈板内閣が成立する。</p>
				<p>小説神髓(坪内逍遙 1885)</p> 
				
				<p>第一条 大日本帝国ノ万世一系ノ 天皇之ヲ統治ス 第三条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘ カラス 第四条 天皇ハ國ノ元首ニシテ統 治權ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条 規ニ依リ之ヲ行フ 第十一条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス 第十三条 天皇ハ戦ヲ宣シ和ヲ講 シ及諸般ノ条約ヲ締結ス</p>
				
				<p>破傷風の血清療法発見(北里柴三郎 1890)</p> 
				
				
				
				

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
明治	治	清	韓国	<p><b>【第二次産業革命】</b></p> <p><b>1901</b></p> <p>日本の<b>第一次産業革命</b>は、日清戦争の前後からの綿糸・綿織物・生糸などの<b>軽工業</b>中心に始まっている。</p> <p>とくに国内で原料を得られる<b>生糸</b>は大きな利益を上げ、1909年には<b>生糸</b>の生産額と輸出額が世界一になっている。</p> <p>得た利益で軍艦や兵器を買い、<b>富国強兵</b>の政策が進められた。</p> <p>この年に筑豊炭田の石炭と中国の鉱物資源を利用した<b>八幡製鉄所</b>が操業を開始すると、ここでつくられた鉄鋼をもとに<b>車両</b>や<b>軍艦</b>・大砲などが国内で生産され、<b>重工業</b>が発達し、<b>第二次産業革命</b>へと移っていく。</p> <p><b>1902</b> <b>ロシアに1902日英同盟</b></p> <p>ロシアと対抗するために、イギリスが日本と<b>日英同盟</b>を結ぶ。</p> <p><b>1904</b> <b>日露では兵隊足りない1904</b></p> <p>日本海軍が<b>遼東半島</b>のロシア艦隊を攻撃して、<b>日露戦争</b>が始まる。この戦争に勝利して戦争は儲かると思った国民は戦争を支持した。</p> <p>しかし、日本軍の武器・弾薬・食料などが不足し、アメリカやイギリスから借金して戦争を続けた。やがて、政府が戦争のための税金を増やしたことで国民の生活も苦しくなり、与謝野晶子らのようにこの戦争に反対する人々も増え、戦争を続けることがむずかしくなった日本は、ひそかにアメリカ大統領の<b>セオドア・ルーズベルト</b>に講和のなかだちをたのんだ。</p> <p><b>1905</b> <b>ポーツマス、1905の金取れず</b></p> <p>ロシアも革命がおきて戦争が続けられなくなったため、ルーズベルトの仲立ちで<b>ポーツマス</b>(アメリカの軍港)にて、<b>日露戦争</b>の講和の<b>ポーツマス条約</b>を調印する(小村寿太郎)。この条約で、日本に対してロシアが認めたことがらは①日本が<b>韓国に対する支配権</b>をもつこと②<b>旅順・大連</b>の一部を期限付きで借りる<b>租借権</b>と、ロシアが経営していた<b>南満州鉄道</b>の権利を日本がもつこと③<b>樺太の南半分</b>を日本の領土とすることなどである。…桂太郎内閣</p> <p>しかし、賠償金がとれなかったため、増税にたえた国民の不満が高まり、民衆が東京日比谷にある交番を焼き打ちする<b>日比谷事件</b>がおきている。</p> <p>日露戦争後は義務教育の年限が6年になり、子供の就学率が90%をこえている。</p> <p>さらに、この条約で韓国の支配権をもった日本は、<b>韓国統監府</b>という役所を置いて政治の実権をにぎり、国名も<b>朝鮮</b>に変え、首都も漢城(ソウル)から京城へと改め、<b>伊藤博文</b>が初代統監になっている。これに対し韓国の民衆ははげしく抵抗した。</p> <p><b>1906</b></p> <p>南満州鉄道株式会社を設立。</p> <p><b>1909</b></p> <p>韓国の安重根に初代統監の<b>伊藤博文</b>が暗殺される。</p> <p><b>1910</b> <b>1910席で韓国併合</b></p> <p>伊藤博文が暗殺されたことを理由に<b>韓国を併合</b>して日本の植民地にする。</p> <p>このとき、この戦争に反対する社会主義者の幸徳秋水が死刑になる<b>大逆事件</b>がおきている。</p> <p><b>1911</b> <b>寿太郎が1911のは自主権回復</b></p> <p><b>小村寿太郎</b>がアメリカと交渉して<b>関税自主権</b>の回復をはたす。</p>
				  <p>輸出</p> <p>1882年: 生糸 43%, 絹糸 34%, 茶 8%, 魚類 5%</p> <p>1897年: 生糸 34%, 絹糸 8%, 石炭 5%, 綿織物 6%, 砂糖 47%</p> <p>輸入</p> <p>1882年: 絹糸 22%, 砂糖 15%, 綿織物 48%</p> <p>1897年: 絹糸 20%, 砂糖 10%, 機械 8%, 石炭 53%</p> <p>明治時代の貿易</p>
				 <p>1904 シベリア鉄道が開通する</p> <p>おもな戦いの行われたところ</p> <p>● 日清戦争</p> <p>● 日露戦争</p> <p>● 資料 ● 「君死にたまふことなかれ」(一部)</p> <p>あゝをととよ、君を泣く、君死にたまふことなかれ、末に生れし君なれば親のなさはまきりしも、親は刃をにぎらせて人を殺せとをしへしや人を殺して死ねよとて二十四までをそだてしや</p>
				 
				<p>1907 英・仏・露三国協商</p> <p>1909 高峰譲吉がタカジアスターゼを創製</p> <p>小早川 加藤 小西が世にあらば</p> <p>今宵の月をいかに見るらむ</p>
				
				 <p>1911 中国で辛亥革命がおこる</p>
			1910 日本領	



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
1912		1912		<p><b>[大正デモクラシー]</b></p> <p><b>1912</b></p> <p>明治の終わりのころから藩閥政治に 対する批判が高まり、長州出身 の桂 太郎内閣ができると憲政の神様 といわれた尾崎行雄と大隈 毅が立憲 政治のための普通選挙を要求する第一次 護憲運動がおこる。</p> <p><b>19</b>サラエボ<b>14</b>んで、第一次大戦始まった</p> <p><b>1914</b></p>  <p>オーストリアの皇太子 夫妻が、セルビアの 青年に暗殺される サラエボ事件がおき、 第一次世界大戦が勃発、日本は日英同盟を 理由に連合国側として参戦し、ドイツに宣戦布告する。</p> <p>大戦中の日本は、ヨーロッパの国々やアジア諸国にかなりの 輸出をしたため、大戦景気といわれる好景気となり、農業国 から工業国になった。このときに三井・三菱・住友・安田の 財閥が日本を動かすほどの資本をたくわえる。</p> <p><b>1915</b> 中国へ<b>19</b>か<b>15</b>よ、二十一</p> <p>中国に勢力をのばしたい日本は、太平洋のドイツ領南洋諸島やドイツの 基地が置かれた中国の青島を占領し、中国大陸の南満州を手に入れよう として、中国に対し<b>二十一か条の要求</b>(大隈重信内閣)を突きつけ、強引に その要求を認めさせた。</p> <p><b>1916</b></p> <p>デモクラシー(民主主義)の指導者で東大教授の吉野作造が民本主義 の考え方を表し、多くの人に支持された。</p> <p><b>1918</b> シベリアは米騒動、米が食えない、<b>19</b>の<b>18</b></p> <p>ロシア革命で、社会主義思想の広まりをおそれた日本・イギリス・アメリカがシベリアに 出兵して革命を失敗させようとしたが失敗する。 シベリア出兵を見こした米商人たちの米の売り おしみなどで、米の値段が高騰したことから、 富山県魚津の主婦たちが米の安売りなどを要求 して米屋や町役場におしかける米騒動がおこる。</p> <p>この騒ぎで寺内正毅内閣が総辞職し、日本で初めての本格的な政党内閣の 原敬内閣(立憲政友会)ができる。</p> <p><b>大正文化</b></p> <p>友情(武者小路実篤) 暗夜行路(志賀直哉) 生まれ出づる悩み(有島武郎) 羅生門(芥川龍之介1915) 路傍の石・真実一路(山本有三)</p> <p><b>1919</b></p> <p>第一次世界大戦を終えるための講和会議が、フランスのベルサイユ 宮殿で開かれて<b>ベルサイユ条約</b>が調印される。日本は中国にあった ドイツの権利の山東半島やドイツ領南洋諸島を手に入れる。しかし、 日本は、「まるで火事場どろぼうのようだ」として世界から非難された。</p> <p>朝鮮では日本からの独立を求める<b>三・一独立運動</b>がおき、中国の北京ではドイツの権利を 日本に渡すことに抗議する<b>五・四運動</b>の排日運動がさかんになった。</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
大正 文化	大正文化	中国	朝鮮	<p><b>1920</b></p> <p>日本が、アメリカ大統領 <b>ウィルソン</b> の提唱で設立された <b>国際連盟</b> に常任理事国として加盟する。本部はスイスのジュネーブに置かれたが、アメリカが加盟しなかったために崩壊する。このとき、<b>新渡戸稲造</b> が国際連盟の事務次長を務めて世界平和のためにつくした。日本初のメーデーが東京で開かれた。</p> <p> 女性の解放と参政権運動もさかんになり、<b>市川房枝</b> らが女性の解放と参政権を求めて運動をおこし、雑誌 <b>青鞥</b> (平塚 <b>雷鳥</b>) を発刊している。</p> <p> </p> <p><b>1921</b> 都市の人口が増加し、バス・円タクなどの交通機関が発達 各国の増大する軍事費の経済的負担を縮小するため、<b>ワシントン軍縮会議</b> が開かれた。 …高橋是清内閣</p> <p><b>1922</b> <b>組合・結社 1922 年</b> 四民平等といわれながらもきびしい差別に苦しんできた人々が、<b>全国水平社</b> (京都) を結成し、差別からの解放運動をおこす。右が雑誌「水平」。</p> <p> 農村で、小作料の引き下げなどを求める小作争議が続発したため、全国初の農民の組織の <b>日本農民組合</b> が結成される。</p> <p><b>1922</b> <b>ソビエト社会主義共和国連邦が成立</b></p> <p><b>1923</b> <b>大震災でわしはダメ、そこ 1923 年</b> 9月1日午前11:58、死者9万1千人・行方不明1万3千人、重軽傷者計15万7千人で国家予算の約4倍の被害総額約60億円を出した <b>関東大震災</b> がおき、混乱の中で朝鮮人約6千人と中国人約200人が虐殺された。この被害で日本の不景気がいっそうひどくなった。</p> <p><b>1924</b> <b>1924 ソ連でスターリン政権が成立</b> 原敬内閣の後、役人や軍人による内閣が続いたため、第二次護憲運動がおこり、<b>加藤高明政党内閣</b> ができる。</p> <p><b>1925</b> <b>普通選挙とひきかえに、わが自由 1925 年</b> 加藤高明内閣のもとで、納税額に関係なく <b>25 歳以上の全ての男子</b> に選挙権をあたえる <b>普通選挙法</b> ができ、選挙権を持つ人たちが全国民の <b>20%</b> になる。しかし、同時に政治や社会のしくみを変えようとする社会主義者を取りしめるための <b>治安維持法</b> が定められ、のちに戦争に反対する人々は、この法律によって処罰された。</p> <p> </p> <p><b>ラジオ放送が始まる</b></p> <p><b>1927</b> <b>1927 中国で蒋介石が国民政府を樹立</b> 上野～浅草の間を日本初の <b>地下鉄</b> が開通する。</p> <p><b>1928</b> 最初の <b>衆議院議員普通選挙</b> が行われた。自由主義者や社会主義者を取り締まるための <b>特別高等警察</b> が設置された。</p> <p><b>1929</b> アメリカから始まった <b>金融恐慌</b> で銀行などが倒産し、生糸の輸出も減り、東北地方の大凶作も重なったため、日本が深刻な不景気になり、身売りや小作争議、労働争議が増える。そのため、財閥と政府は軍部を中心に <b>中国大陸に植民地</b> をつくり、資源を安く手に入れ、輸出を増やして不景気を解決しようとした。</p> <p><b>1930</b> 増え続ける軍事費をおさえるための <b>軍縮会議</b> がロンドンで開かれる。</p> <p><b>[軍部の進出と中国侵略]</b></p> <p><b>1931</b> <b>満州で 1931 年</b> 関東軍(満州にいる軍隊)が、<b>柳条湖</b> (瀋陽) で南満州鉄道を爆破し、これを中国軍のしわざとして満州を占領する <b>南満州鉄道爆破事件</b> (柳条湖事件) がおこる。…犬養毅内閣 ここから始まる日本の中国侵略を <b>満州事変</b> といい、1945年の太平洋戦争敗戦まで続く <b>15 年戦争</b> の始まりである。</p>
1926	昭和 文化	中国	朝鮮	<p></p> <p>衆議院の選挙権の拡大</p>